

(社) 日本食物繊維学会第 16 回学術集会および公開講演会のお知らせ

第 16 回日本食物繊維学会学術集会

日 時：平成 23 年 11 月 26 日 (土)、27 日 (日)

会 場：独立行政法人国立健康・栄養研究所 講堂

集会長：ダニスコジャパン株式会社 学術・技術担当最高顧問 浜野 弘昭 氏

参加費：正会員 4000 円 (5000)、学生会員 2000 円 (2000)、非会員 5000 円 (5000)

※ () 内懇親会費、別途頂きます。

特別講演

Interplay between gut microbiota, obesity and type 2 diabetes: new insights into the gut?

Prof. Dr. Patrice D Cani (UCL, Université catholique de Louvain)

シンポジウム「消化管機能とルミナコイド：代謝疾患との関連」

1. 高脂肪食がプロバイオティクスに与える消化管内ストレスとプレバイオティクスによるストレス対処

園山 慶 (北海道大学大学院農学研究院)

2. ルミナコイドによる消化管機能を介した糖尿病予防

～動物モデルにおける小腸粘膜上皮細胞内網羅的遺伝子解析～

市川 寛 (同志社大学院・生命医科学)

3. 胆汁酸代謝調節によるメタボリックシンドロームへのアプローチ

渡辺 光博 (慶應義塾大学医学部・腎臓内分泌代謝内科)

その他一般演題 31 題

第 16 回公開講演会

日時：平成 23 年 11 月 27 日 (日) 14:20～ (学術集会後開催・参加費無料)

会場：独立行政法人国立健康・栄養研究所 講堂

テーマ「日本人の食物繊維摂取の現状と将来『子供たちの食生活の実情について』」

1. 日本人の栄養摂取状況における食物繊維の現状

吉池 信男 (青森県立保健大学健康科学部・栄養学科)

2. 地方における児童生徒の食と生活リズムに関する報告

柳沢 幸子 (長野県立御代田町立御代田中学校栄養教諭)

3. 家庭の食卓実態と子供の便秘－ADK「食 DRIVE」調査より－

岩村 暢子 ((株) アサツーディ・ケイ、慶応大学スポーツ医学研究センター研究員)

4. 食物繊維の役割と最新の研究について

海老原 清 (愛媛大学農学部・栄養科学)